

発行日 2020年12月18日

# 環境経営レポート

(2019年11月~2020年10月)



株式会社ワイ・ケー・コーポレーション

## 1.組織の概要

商 号：株式会社ワイ・ケー・コーポレーション

住 所：横浜市磯子区洋光台 6 - 1 - 1  
ファミリーコアビル 2 F

創 立：平成 8 年 5 月

資 本 金：10,000,000 円

役 員：代表取締役 栗原克多

事業内容：マイクロ波用コネクタ及びコンポーネントの販売  
ケーブル A s s y の販売  
その他電子機器及び電子部品の販売

### 【販売代理店】

- ・ AplusRF co.Ltd (韓国)
- ・ 神栄キャパシタ株式会社

事業規模：従業員数：4 人

事業所の床面積：33 m<sup>2</sup>

## 2.対象範囲（認証・登録範囲）、

マイクロ波用コネクタ及びコンポーネント、  
ケーブル A s s y、その他電子機器及び電子部品の  
販売

### 3.環境経営方針

#### 基本理念

当社は、電子機器及び電子部品の販売をしております。最近の地球環境問題の進展、企業をめぐる社会情勢の推移の中で、顧客の要請を踏まえて可能な限り環境保全活動を進めます。特に、省資源及びグリーン調達を積極的に進めて参ります。

#### 環境経営方針

- ・ 環境に関連した法律、法令、規則、業界基準を遵守し、環境保全及び環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
- ・ 地球温暖化防止のため、電力等エネルギーの節減をしてCO<sub>2</sub>を削減します。
- ・ 資源の有効活用を図り、排出物の削減と節水に努め、リサイクルを推進します。
- ・ 得意先に環境情報の提供を図り、環境配慮に努めます。
- ・ 市場のニーズに対応した部品の開発に推進します。

制定 2008年7月7日

改定 2020年11月1日

株式会社ワイ・ケー・コーポレーション

代表取締役 栗原克多

### 4.環境経営目標（中期目標）

※小数点以下、四捨五入

環境目標項目	実施項目	単位	2020年度 19/11～20/10	2021年度 20/11～21/10	2022年度 21/11～22/10	2023年度 22/11～23/10
CO <sub>2</sub>	電気	kWh	2,860	-1%	-2%	-3%
	ガス	N m <sup>3</sup>	20	-1%	-2%	-3%
	ガソリン	ℓ	594	-1%	-2%	-3%
	総量	kg-CO <sub>2</sub>	2,851	-1%	-2%	-3%
廃棄物		kg	34	-1%	-2%	-3%
グリーン調達			グリーン購入法 適合品を購入	同左	同左	同左
水使用量		m <sup>3</sup>	3	0%	0%	0%
製品サービスの グリーン化			・配送ルート効率化 ・販売時の包装を簡素化	同左	同左	同左

※当社は化学物質の使用はありません。

## 5.環境経営計画(対象期間：2019年11月～2020年10月)

環境経営目標	手段	責任者
電気	エアコンの適正温度管理を実施する。	栗原
	定期的にフィルターの清掃を実施する。	
	不在時消灯と休憩時間消灯の徹底管理を実施する。	
	ブラインドの調整による日射の遮断。	
	自然光の確保による照明効果の取入れ実施する。	
ガス	ファンヒーターの使用削減。	栗原
ガソリン	急発進、急停止をしない運転を実施する。	栗原
	エコ運転の徹底。	
廃棄物	一般ゴミ、資源の分別管理による廃棄物削減。	栗原
	リサイクルの向上。	
	ダンボール等を繰り返し利用する。	
	コピー紙の裏紙使用で使用料を削減する。	
グリーン調達	グリーン購入法適合された文具等を使用する。	栗原
水使用量	節水に心掛ける。	栗原
製品・サービスの グリーン化	配送ルートを効率化する。	栗原
	販売時の包装を簡易化する又は無包装化する。	

## 6.環境経営目標の実績

2020年の目標と実績

※小数点以下、四捨五入

環境目標 項目	実施 項目	単位	【基準】 16/11 ~ 17/10	活動期間目標 19/11~20/10	活動期間実績 19/11~20/10	評価
CO2	電気	kWh	2,889	2,860	3,123	×
	ガス	N m <sup>3</sup>	20	20	15	○
	ガソリン	ℓ	600	594	489	○
	総量	kg-CO2	2,880	2,851	2,728	○
廃棄物		kg	24	34	26	○
グリーン調達				グリーン購入法 適合品を購入	再生紙を購入	○
水使用量		m <sup>3</sup>	3	3	3	○
製品サービスの グリーン化				・ 配送ルートを効 率化する ・ 販売時の包 装を簡素化	・ ・ 配送ルート を効率化した ・ 販売時の包 装を簡素化	○

※CO2 定排出係数は、2016年東京電力（0.518kg-CO2/kWh）を使用。

※当社は化学物質の使用はありません。

## 7.環境経営計画の取組内容・取組結果とその評価

目 標	取 組 内 容	取 組 結 果 と その 評 価
電気使用量削減	無人スペースの照明消灯の徹底	ドア開放の為、エアコンの使用が増えた。
	エアコンの適正温度管理の実施	エアコンのON状態が多かった。
	定期的なエアコンのフィルターの清掃	年々、汚れが酷くなるので清掃の回数を増やす。
ガス使用量削減	ブラインド調整による日射の確保	天気の良い日に実行
	室内の適正温度管理の実施	扇風機を活用 頻繁にSWのON/OFF
	温度調整	効果大
ガソリン使用量削減	ハイブリッド車に切り替え	効果大
	走行距離の把握	実行
水使用量の削減	元栓バルブの調節	実行
	手洗い時の節水	実行
廃棄物削減	両面印刷で紙の使用量削減	実行
	一般ゴミ、資源の分別管理	資源ゴミはリサイクルへ
	ダンボールの繰り返し利用	実行
グリーン調達	コピー紙はグリーン製品を使用	実行
製品サービスのグリーン化	配送ルートを効率化 販売時の包装を簡素化	実行
CO2 総量削減		コロナに依り、外出自粛で車に乗る機会が減り、ガソリンの使用量が減った。

## 8.次年度の環境計画（2020年11月～2021年10月）

環境経営目標	手段	責任者
電気	エアコンの適正温度管理を実施する。	栗原
	定期的にフィルターの清掃を実施する。	
	不在時消灯と休憩時間消灯の徹底管理を実施する。	
	ブラインドの調整による日射の遮断。	
	自然光の確保による照明効果の取入れ実施する。	
ガス	ファンヒーターの使用削減。	栗原
ガソリン	急発進、急停止をしない運転を実施する。	栗原
	エコ運転の徹底。	
廃棄物	一般ゴミ、資源の分別管理による廃棄物削減。	栗原
	リサイクルの向上。	
	ダンボール等を繰り返し利用する。	
	コピー紙の裏紙使用で使用料を削減する。	
グリーン調達	グリーン購入法適合された文具等を使用する。	栗原
水使用量	節水に心掛ける。	栗原
製品・サービスの グリーン化	配送ルートを効率化する。	栗原
	販売時の包装を簡易化する又は無包装化する。	

## 9.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

2020年12月18日評価

下記にまとめた当社の事業に関する環境関連法令の違反行為はありません。尚、関係当局よりの違反行為の指摘も過去3年間ありませんでした。

家電リサイクル法	冷蔵庫、電子レンジ等、排出時に適正処理	順守
小型家電リサイクル法	携帯電話	順守
資源有効利用促進法	廃棄パソコン等、排出時に適正処理	順守
グリーン購入法	コピー紙、文具等、環境物品の購入	順守
廃棄物処理法	廃棄品、ルールに従った排出	順守
R o H S 指令	客先の要望に対応	順守
横浜市生活環境の保全に関する条例	アイドリングストップ	順守

## 10.代表者による全体評価と見直し・指示

2020年12月18日作成

見直し項目	評価と指示
環境方針	引き続き方針に従って行動する。
環境目標	電気（Δ9%削減）は、ドア開放が多かった為エアコンの使用が増した。 ガス（25%削減）は、ガスファンヒーターを極力使用しなかった為。 ガソリン（18%削減）は、コロナの影響で外出自粛の為、車に乗る機会が減りガソリンの使用減になった。 廃棄物（Δ8%）は、コピー紙の裏紙使用の徹底に努めたが、多少増加した。 次年度は、今年度実績から-1%の目標にします。
環境活動計画	漏れの無い様活動する。
教育計画	課題を出し、社員、管理者、経営者研修は実施する。
環境関連法規類	違反なし。